



タウンサポーター

下都賀教育事務所 ふれあい学習情報紙【平成29年4月発行】 第121号

VERY GOOD LOCAL
とちぎ

次代を担う子どもたちのために

栃木県教育委員会事務局 下都賀教育事務所長 石崎 雅也



栃木県教育委員会では、「栃木県教育振興基本計画2020—教育ビジョンとちぎ—」を策定し、今年度で2年目を迎えます。ここでは、基本理念「とちぎから世界を見つめ 地域とつながり 未来へ向かって とともに歩み続ける人間を育てます」として栃木の教育の目指すべき方向性を示しました。「地域とつながり」「ともに」といった文言にあるとおり、次代を担う子どもたちの育成やさまざまな課題解決のために、学校・家庭・地域がお互いの役割を認識し、「お互い様」の関係のもと、協働して取り組むことが求められています。

今日は、価値観の多様化に伴い、「正しさ」や様々な評価基準等に揺らぎが生じているといっても過言ではない、大人でも判断が難しい時代と言えます。そのため、その際は、「子どもたちのためになるか」が大きな基準となるのではないのでしょうか。下都賀教育事務所は、その使命を「すべての子どもに 生きる力をはぐくむ 学校・家庭・地域づくり」と考えております。各市町教育委員会や関係機関と連携・協力しながら下都賀管内の学校教育の充実、ふれあい学習の推進のために努めてまいります。今年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

「ふれあい学習」新たなステージ ～4つ目の『あい』～

栃木県教育委員会事務局下都賀教育事務所 副主幹兼ふれあい学習課長 星 育夫



本年度、ふれあい学習課長を拝命いたしました星と申します。

本県は、子どもを核とした幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動を「ふれあい学習」として定義し、平成13年度から「心豊かな青少年の育成（生きる力の育成）」・「地域で子どもを育む環境づくり」を目指して推進してきました。

この間、各学校・団体の御理解・御協力をいただきながら「ふれあい学習」は浸透し、平成26年度には全国的にも先駆的な「地域連携教員」が各学校に配置され、「地域とともにある」学校づくりに向けた学校・家庭・地域が連携した様々な取組が注目を集めているところです。今、「ふれあい学習」は新たなステージに入ったと言えるでしょう。

「とちぎ輝き『あい』育みプラン」（栃木県生涯学習推進計画五期計画）は3つの「あい…個人（I）の自立・互いの学び合い（あい）・栃木や地域への愛（あい）」を育むことを目指していますが、私たちは、ふれあい学習課の（あい）を4つめの『あい』として加え、今、学校・家庭・地域の皆様から求められている「ふれあい学習」の姿を見つめて参りたいと考えております。皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

ふれあい学習課職員紹介

社会教育主事 鈴木 正俊

【担当業務】家庭教育、文化振興、生涯スポーツ
【担当市町】壬生町・下野市

副主幹 高田 裕子

【担当業務】生涯学習振興、人権教育・男女共同参画
【担当市町】管内全市町



社会教育主事 和久 真

【担当業務】成人教育、青少年教育
【担当市町】栃木市

副主幹 高山 康代

【担当業務】ふれあい学習推進、社会教育
【担当市町】野木町・小山市

副主幹兼ふれあい学習課長 星 育夫

【業務内容】全業務（総括） 【担当市町】管内全市町



『ふれあいサポート』を御活用ください

ふれあい学習課では、「ふれあいサポート（学校を応援します・地域を応援します）」として、各種研修の支援を行います。

詳細はホームページに掲載しておりますので、参照ください。

下都賀教育事務所ふれあい学習課



「学校を応援します」

教職員や保護者等を対象とした研修の支援



「地域を応援します」

家庭教育支援者や子ども会育成会役員等、地域で活躍する指導者のための各種研修の支援

